



令和5年11月14日作成  
放射線技術科

この検査は「骨粗しょう症(こつそしょうしょう)」という病気かど

うか判断する検査です。

## 1 検査の特徴

- ① 放射線を使用して検査をおこないます。
- ② 腰椎と股関節を検査します。(右写真は腰椎検査の様子です)
- ③ 精度が高く、定期的に検査することにより骨密度の状態を経時的に測定します。
- ④ 検査時間は約10分です。
- ⑤ 検査費用は3割負担で約1,350円です



## 2 測定結果

- ① 若い人の骨密度の平均と比べて、現在何%あるかを表します。
- ② グラフの+マークが測定結果を表しています。
- ③ 水色が正常範囲・黄色が気をつける範囲・赤が注意が必要な範囲です。
- ④ 若い人と比較した値が70%以下で骨粗しょう症と診断になります(骨折をしたことがない場合)
- ⑤ 骨折したことがある方は80%以下で骨粗しょう症と診断されます。

## 3 骨粗しょう症とは

- ① 骨の中がスカスカの状態になり、骨がもろくなり、骨折しやすくなります。
- ② くしゃみによって、背骨が骨折することもあります(いつのまにか骨折)。
- ③ 女性に多い病気です。
- ④ 男性も加齢によって起こります。
- ⑤ 原因は？

(ア)女性ホルモンの低下

(イ)喫煙・飲酒・運動不足

(ウ)関節リウマチ・ステロイド剤の長期服用

## 4 骨粗しょう症の初期症状

- ① 初期症状は無症状(自覚症状なし)
- ② 女性の60代で5人に1人・70代で3人に1人が骨粗しょう症といわれています。

\* ご不明な点は、当院放射線技術科でお聞きください

